

作品を作るクリエイターは、著作物に対する対価を生活の糧としているため、適切に対価が還元されることで良い作品の持続的な生み出しが可能になると認識している。著作物利用の円滑化と著作権者の権利保護を両立させる仕組みである。他市においても予算化が進んでおり、子どもたちと学校が安心して著作物を利用できる仕組みを継続的、持続的に活用させていただくものである。

賛成全員で可決



建設生活常任委員会

◆財産の取得（吉川美南駅東口地域）について

産業ゾーン、商業・業務ゾーンの換地面積と評価額、それ以外の約3100㎡の活用方法は。

産業ゾーンの換地面積は約7400㎡、売却想定額は、企業誘致している4画地の、平均値を採用して1㎡あたり約10万7000円と想定。

商業・業務ゾーンは、現段階で換地面積は約6000㎡。売却想定額は、1㎡あたり13万5000円とすると、約8億1000万円と想定。

約3100㎡は、1号調整池に隣接する沿道サービスゾーンに換地する予定。1号調整池では平時は、スポーツ施設利用を予定していることから、その脇に公社用地を配置し、民間事業者と連携した運営管理の可能性を検討したい。

賛成全員で可決

◆市道の路線廃止及び認定（川藤・榎戸地内）について

路線の廃止及び認定は何のためにするのか。

現段階では、駐車場として一体利用すると聞いている。用途廃止申請に対して、現地確認、利害関係者の同意を得て、機能に支障がないと判断したことから廃止、認定を行う。

賛成全員で可決

◆工事請負契約（吉川美南駅東口調整池ポンプ設置）の締結について

1号調整池については時間降雨量73・8mmに耐えられる計画だが、ゲリラ豪雨などにより、冠水等問題はないのか。また、河川へのポンプ排水を実施するにあたり、河川改修が完成されていなくても支障はないのか。

ゲリラ豪雨による冠水の原因は、短時間に降った雨が道路側溝の集水能力を超え、溢れてしまうことが原因。当地区では、側溝等の集水能力を高めるように対応していく。

また、河川への排水については、河川で定められた許容放流量に見合った量をポンプ排水するものである。

賛成全員で可決



注目の議案

吉川市美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

今定例会では、吉川美南駅東口周辺地区土地区画整備事業に伴う、次の3件の「工事請負契約の締結について」審議しました。

◆工事請負契約の締結について（吉川美南駅東口周辺地区1号調整池工事）

3億8500万円

地区内の雨水を貯める1号調整池に、最終放流先となる準用河川上第二大場川へ排水するためのポンプ施設を整備するものです。（場所は工事箇所図のその3です。）

◆工事請負契約の締結について（吉川美南駅東口周辺地区上下水道管布設工事）

2億7280万円
都市計画道路や武蔵野線側道など、早期の供用開始を目指している道路部に、水道管と下水道管を布設するものです。（場所は工事箇所図のその7です。）

◆工事請負契約の締結について（吉川美南駅東口周辺地区水路工事）

2億7500万円

武蔵野線沿いの水路と準用河川上第二大場川との交差部にあるサイホン水路の布設替えを行うものです。（場所は工事箇所図のその8です。）

